

業務名：町道岩井中央線外消雪装置改修工事測量設計業務

特記仕様書

第1(目的・主旨)

本業務は、岩井地内の町道岩井中央線外 及び 大谷地内の町道大谷沓井線において、消雪装置改修にかかる測量及び設計を行うものである。

第2(適用範囲)

本業務の履行に当たっては、「測量業務共通仕様書(最終改定:平成28年4月1日)」、「設計業務共通仕様書(最終改定:平成28年10月10日)」によるほか、この特記仕様書によること。

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
追加				業務内容		【測 量】 (岩井) 岩井中央線外 ・4級基準点測量 N=4 点 ・現地測量 N=1 式 ・路線測量 L=0.08km (大谷) 大谷沓井線 N=10 点 N=1 式 L=0.53km 【設 計】 ・消雪設備詳細設計 N=1 式
追加				資料の貸与及び返却		本業務において必要となる資料については、初回打合せ時において、双方確認し貸与することとする。
追加				関係官公庁への手続き等		関係官公庁等への手続き状況は以下のとおりである。 なお、これら以外の機関と協議が必要となることが想定される場合には、調査職員に速やかに報告すること。 ・河川管理者と占用等について未協議である。
追加				地元関係者との交渉等		地元関係者との交渉等に必要な資料(通行止期間に関する案内等)を作成すること。
追加				成果物の提出		成果物は、下記のとおりとする。 ・報告書 2部 ・図面(A3縮小版) 1部 ・電子媒体(CD-ROM 又は DVD-R) 2部
追加				業務カルテ登録方法		受託者は、財団法人日本建設情報総合センターへ、フロッピーディスクの郵送又はインターネットを通じてオンラインで登録することができる。
追加				関連業務		
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協議し、速やかに処理すること。
追加				見積等		
追加				労働環境の改善に向けた取組		本業務の実施にあたっては、受発注者双方の労働環境の改善を図るため、「労働環境の改善に向けた取組について(平成29年1月31日付第201600158128号県土整備部長通知)」に基づき、受発注者双方でワンデーレスポンス、ウェンズデー・ホーム等の労働環境の改善に向けた取組を実施すること。
追加				設計変更等取扱要領		設計変更等については、 https://www.pref.tottori.lg.jp/303205.htm に掲載された最新の「測量等業務設計変更等取扱要領」によること。
追加				その他		

【測 量】

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
	1		109	主任技術者	3	(必要に応じ資格要件を記載する。) ・業務経験
	1		110	照査技術者	1	本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。 なお、照査に当たっては、調査・測量・設計業務共通仕様書 (及び別添)中の「測量チェックマニュアル(案)」及び、調査職員 の指示によること。
	1		113		2	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において 行うこととし、回を予定している。 ——・中間——回 ——なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち 会うこと。
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協 議し、速やかに処理すること。

【設計業務】

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
1	1		1106	管理技術者	3	(必要に応じ資格要件を記載する。) ・業務経験
1	1		1107	照査技術者及び 照査の実施	1	本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。なお、照査に 当たっては、「詳細設計照査要領」及び、調査職員の指示によ ること。
1	1		1110	打合せ等	2	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において 行うこととし、5 回を予定している。 ・当初、中間(3 回)、成果納品時 なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち会 うこと。
1	2		1209	設計業務の条件	1	【建設副産物・リサイクル】 鳥取県建設リサイクル指針、県土整備部リサイクル製品使 用基準等に基づき、リサイクル製品、鳥取県認定グリーン商品 等の積極的活用を図ること。 なお、リサイクル計画書の作成に当たり、他工事への搬出可能 量等については調査職員に協議すること。
1	2		1209	設計業務の条件	11	【コスト縮減】 設計に当たっては、完成後の維持管理を含めたライフサイク ルコストを考慮し、総合的な評価により工法等を検討すること。 また、必要に応じてコスト縮減関係留意書(平成 11 年 5 月 14 日管第 102 号鳥取県土木部長通知)を作成すること。

1	2		1211	設計業務の成果	1 (4)	設計図面、数量計算書は、必要に応じて、暫定、完成計画ごとに取りまとめること。 現場進入路が狭く、資材搬入に当たり小型車(2トン積、4トン積)への積替え等が見込まれる場合は、数量計算書の中に「材料集計表(砕石・購入土等)」を追加作成すること。 材料集計表を作成する対象資材は、土木工事実施単価表に掲載する「02. 一般資材単価」のうち「(07-1) 骨(石)材」及び「(07-2) 再生砕石」に該当するものである。
追加				特殊な条件		
追加				条件明示チェックシート		
追加				関係機関協議(資料作成)		関係機関との協議資料として、当該施設補修工事の際に必要な河川占用協議資料を作成すること。
追加				施工計画		
追加				仮設設計		
追加				その他		